



イー・エフ・エデュケーション・ファースト、 「留学経験者(大学生)のキャリアに対する意識調査」を実施

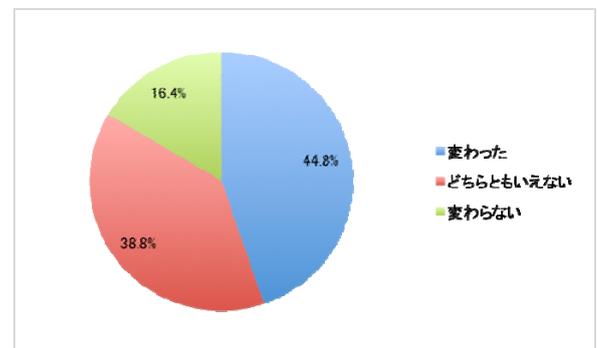
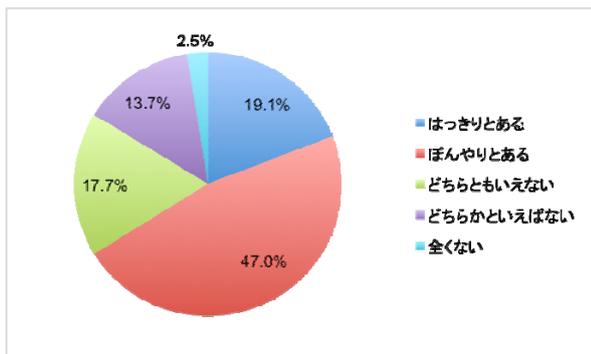
－留学前と留学後ではキャリアに対する考え方が変化－

【2015年6月10日、東京】グローバルに教育事業を展開し、今年で設立50周年を迎えたイー・エフ・エデュケーション・ファーストの日本法人、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役 中村淳之介、以下EF)では、EFの6カ月未満の短期留学プログラムに参加した大学生(19-22歳)を対象に留学前と留学後二回にわたりキャリアに対する意識調査を行いました。

その結果、留学前では、将来のキャリアについて明確なビジョンが「はっきりある」と答えた大学生は19.1%にとどまったものの、留学後では44.8%の大学生が、将来のキャリアに対する考え方が「変わった、または明確になった」と回答したことがわかりました。留学を経験することで、キャリアビジョンが明確になる、また、将来やりたいことが変わるきっかけになることが明らかになりました。

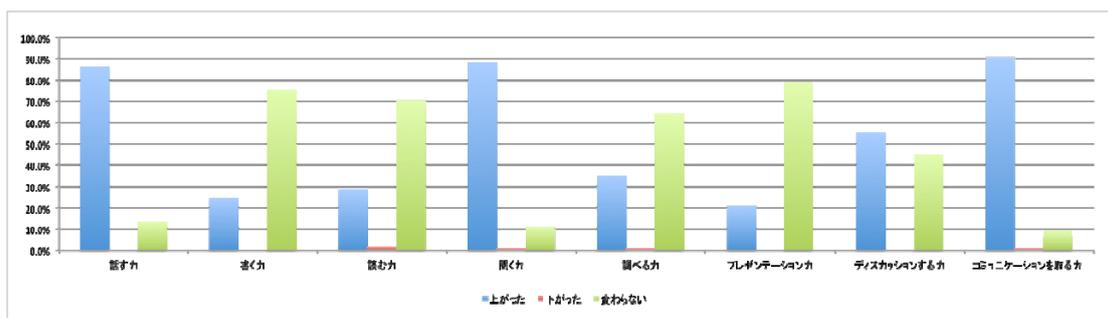
Q1. 留学前: 将来のキャリアについて明確なビジョンを持っていますか?

Q2. 留学後: 将来のキャリアに対する考え方は変わりましたか? または明確になりましたか?



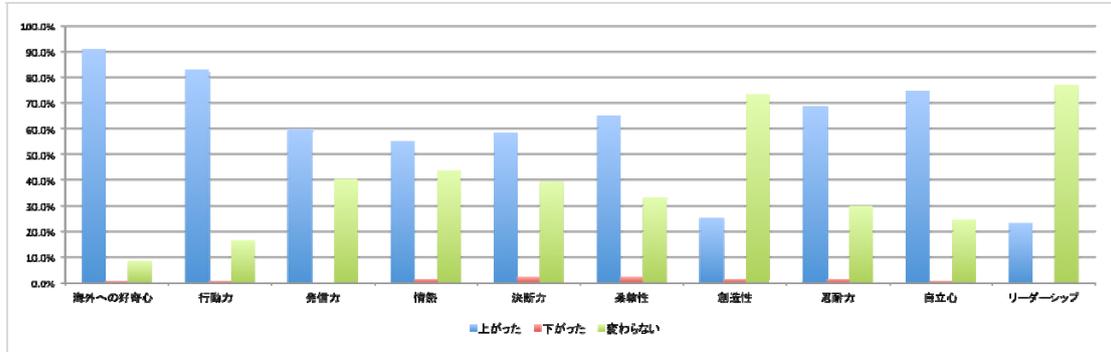
さらに、留学中、身についた語学力として、80%以上の回答者が「コミュニケーションをとる力」、「聞く力」、「話す力」が向上したと回答しています。また70%以上の回答者が留学を通じ、「海外への好奇心」、「行動力」、「自立心」が上がったと回答しています。

Q3. 留学後: 留学先で上がった、下がったと思われる語学力について教えてください。





Q4. 留学後: 留学先で上がった、下がったと思われるご自身のスキルについて教えてください。



本調査結果を受け、EF 代表取締役 中村淳之介は次のように述べています。「6 カ月未満の短期留学は異文化の中で自分を見つめ、将来について考えるきっかけを与えてくれる、適切な期間だと思われます。留学に興味を持つ大学生はもともと海外に強い関心を持っており、英語が得意であることが多いのですが、生活習慣や育ってきた環境が異なる人々との交流を通じ、読む、書く英語だけでなく、聞いて話す、すなわち『コミュニケーション力』を向上させ、帰国する学生が非常に多いと実感します。EF では今後も、コミュニケーションツールとしての英語を上達させるためのさまざまなプログラムを皆さんに提供していきたいと思っています」。

留学経験者(大学生)のキャリアに対する意識調査 2015 概要

- －調査機関: イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社
- －調査手法: EF の 6 ヶ月未満の短期留学プログラム参加者へのアンケート調査
- －調査対象: 大学生 (19 歳-22 歳) / 短期留学経験者 (6 ヶ月未満の留学経験者)
- －サンプル数: 留学前調査 (Q1) 555 サンプル、留学後調査 (Q2-4) 134 サンプル
- －調査対象期間: 2014 年 1 月～12 月

本件に関する問い合わせ先:

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン(株) マーケティング&コミュニケーションズ: 平尾
03-5774-6206
satoshi.hirao@ef.com



1965年にエデュケーション・ファースト(『教育を第一に』)をモットーにスウェーデンで設立したイー・エフ・エデュケーション・ファーストは、世界最大級の私立教育機関です。現在では世界50カ国以上の国々に500を超える事業拠点及び直営語学学校を擁し、グローバルに教育事業を展開しています。同社は16の事業に分かれた教育機関で、2週間から参加できる語学研修コースから専門英語を学ぶマスターコース、試験準備コース、インターンシップコース、社会人専門コースなど、さまざまなプログラムを提供しています。また、1,200以上の企業で語学研修を担当し、2014年冬季ソチオリンピックのオフィシャル語学サプライヤーを務め、2016年リオデジャネイロオリンピックおよびパラリンピックの公式語学サプライヤーに認定されています。

イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社はイー・エフ・エデュケーション・ファーストの日本法人として 1973 年に設立されました。詳細はこちらをご覧ください。 www.efjapan.co.jp/